

サステナブル・コーヒーを考える

ペルーのコーヒー農家さんにリアルを伺います！

東洋英和女学院大学
コーヒープロジェクト
「一杯のコーヒーから始
めるSDGs」メンバー

×

ペルー アチャマル村 在住
コーヒー農家、コーヒー生産者
組合「APRYSA」組合長
高橋 克彦 氏

10月8日（金）18:30～20:00 Zoom・YouTubeにてオンライン開催!!



「サステナブル・コーヒーとは、
生産者と消費者という関係性を
生産者と共同生産者に置きかえていくこと」
という考えに至った
東洋英和女学院大学の皆さん。

生産者・消費者が求めていることは？
農家さんの生活の実際は？
持続可能な産業とは？

南米ペルーで無農薬無化学肥料の
日陰栽培でコーヒー農園を営み、
250の農家の組合長もされている
高橋さんをお呼びして



サステナブルなコーヒーのリアルを一緒に考えます！

こんな方、お待ちしております！

・「サステナブル」なコーヒー
のリアルに興味がある！

・コーヒー農家さんの現場の
リアルを聞きたい！

日時 : 2021年10月8日（金）18:30～20:00
主催 : 地球環境パートナーシッププラザ、環境省
参加費 : 無料
開催方法 : Zoom、YouTube

申込方法 : GEOCのHPよりお申込みください
<http://www.geoc.jp/activity/domestic/2664927.html>

PROGRAM

Session 1：ご講演 東洋英和女学院大学コーヒープロジェクト

「一杯のコーヒーから始めるSDGs」をテーマに、東洋英和女学院大学がミ・カフェート社、コーヒー農園とのコラボレーションで取り組むプロジェクトについて伺います！

Session 2：ご講演 高橋 克彦 氏

無農薬無化学肥料の日陰栽培へのこだわりや、コーヒー産業の魅力、持続可能な産業を目指した組合長としてのご活動などについてリアルを伺います！

Session 3：パネルディスカッション

「消費者」でなく、生産者と「共同生産者」の関係になることや、サステナブル・コーヒーの普及などについて一緒に考えます。

Session 4：質問タイム

視聴者の皆様からの質問タイムです。

PROFILE

東洋英和女学院大学コーヒープロジェクト

(東洋英和女学院 国際社会学部 教授 桜井愛子氏 と プロジェクトメンバー)

東洋英和女学院大学では、ミ・カフェート社川島良彰氏の講演会(2019年)をきっかけに、コロンビアの女性農園主が経営するベジャビスタ農園の豆を用いて大学オリジナルのコーヒードリップバッグ「Eiwa Café」を製作。「一杯のコーヒーから始めるSDGs」をメインテーマに、募金活動等のプロジェクト活動を学内外で実施。集めた募金は、コロンビアの障害者就学・就労施設フェダール農園に寄付されている。コロンビアの女性たちが生産するコーヒー豆を使った「Eiwa Café」を飲むことを通して、女性生産者の安定した生活を支援しパートナーシップを結んでいく。また、コーヒー産地を理解し消費者から共同生産者になることを目指してサステナブル・コーヒーの推進に取り組んでいる。



英和生が
デザイン！



収穫の様子

日本での
コーヒーイベント

ペルー アチャマル村 コーヒー農家 高橋 克彦 氏

南米ペルー北部の辺境の地・アチャマル村で、無農薬無化学肥料の日陰栽培によるコーヒー農園を家族経営。

ペルー人の妻と結婚後、妻の実家や地域のために働きたいという思いから、2007年に会社員を辞め、アチャマル村に渡る。

2009年に農地を購入し、コーヒー栽培を個人で開始。

2012～13年にコーヒーの木固有の伝染病「さび病」が大流行したことにより、当時栽培していたティピカ種が全滅。これを機に、現在も栽培しているゲイシャ種に切り替える。

2017年に、ゲイシャ種を初出荷。

地域活性の取組としては、「正直者が馬鹿を見ない組織づくり」を目指し、2014年にAPRYSA（アマソナス統合的持続可能生産者組合）を発足。約250世帯の組合員からのさまざまな相談に応じ、コーヒー豆の品質向上や生産者の生活向上に尽力している。